



◆協力 公民館利用者連絡会

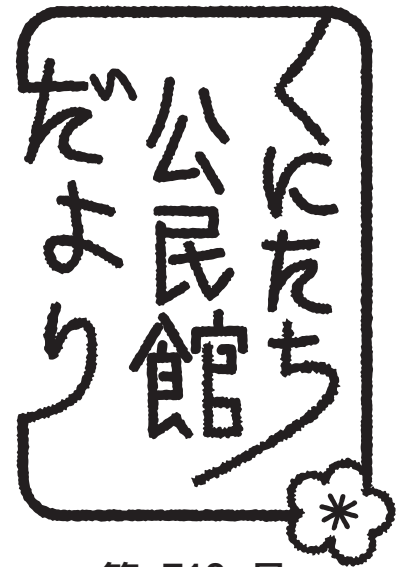
※汚れてもよい服できてください。

※申し込みは不要です。ご自由においでください。

◆対象 小学生（未就学のお子さんが参加できるものも有）

地域の方々と一緒に体験しながら、冬休み前の一日を公民館で過ごしませんか？

カード作りや工作、習字、さらに将来の夢を描いてみたり、おはやしを体験したりしてみます。おなががすいたら、みんなで作ったにーだんごで温まりましょう。さまざまな体験がまったイベントです。スタンプラリーをしながら、公民館内を巡ってみましょう。ふるってご参加ください。



第 718 号

2019年12月5日

(令和元年)

「くにたち公民館だより」
ホームページのQRコード▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

小学生のみんな、あつまれ！

—地域の人と、あそぶ・まなぶ・交流する—

冬休み 直前 ふれあいひろば

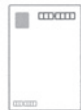
☆ 日時 12月21日(土) 朝10時～昼3時 ☆

紙版画で

オリジナルカードづくり

ハガキサイズの紙に好きな絵を描いて版画を作ります。年賀状やクリスマスカードにもなります。消しゴムはんこもつくります。

じかん：朝10時～昼2時20分
ところ：公民館 3階集会室
講師：ぶれす・る



筆と墨で書いてみよう！

大きな紙に、筆を使って墨で文字を書いてみよう！書いた文字を色のついた砂できれいな文字にもできます。

じかん：朝10時～昼2時20分
ところ：公民館 3階和室
講師：墨遊会



おりがみ工作

くねくね動く“あおむし”やフーフー吹くとくるくる回るコマをつくりまわす。つくったあとは、みんなで動かしてみよう！

じかん：朝10時～昼2時
ところ：公民館 1階ロビー
講師：まめつちよ



ミニミニドリーム マップと夢レター

自分らしい幸せな未来を想像して、1年後の自分へ手紙を書いてみよう！

じかん：①朝10時半～11時15分
②昼1時～1時45分
ところ：公民館 3階講座室
講師：i-z-e (いーぜ)



にーだんご

粉をこねてだんごにして、野菜をたくさん入れた「にーだんご」をつくりまわす。

昔の谷保村に伝わる味です。

じかん：朝10時半～昼1時半
ところ：公民館 1階ロビー
講師：なかなかいい会



お楽しみ交流屋台 (好きの交差点ふるまい0円市)

それぞれが得意なことを披露します。国立の歴史を写真で見たり、バルーンアートやマジック、読み聞かせ、電車トークなどいろんな屋台が並びます。みんなと楽しい時間を過ごしましょう。

じかん：朝10時～昼2時20分
ところ：公民館 地下ホール

協力：くにたち富士見台人間環境キーステーション



おはやし

笛や太鼓に合わせて、おかめ、ひょっこ、獅子舞が踊ります。みんなでいっしょに音を鳴らしたり、踊りをしたりしながら伝統文化を楽しみましょう！

じかん：昼2時20分～昼3時
ところ：公民館 1階ロビー
講師：国立旭友睦囃子連



〈平和について考える連続講座⑦〉

「誉れの子」と戦争

～“お国のため”に利用された子どもたち～

講師 齊藤 利彦 (学習院大学)

「誉れの子」を知っていますか？かつて、戦没した日本兵の遺児たちはこのように呼ばれていました。子どもたちは親の名を辱めないよう“模範的”な行動を求められ、靖国神社に参拝する「社頭の対面」にも動員されていきます。

国家に翻弄され、戦争のプロパガンダに利用された子どもたちは、どのように生きたのか——。近代教育史の立場から長年「誉れの子」の事実と向き合い、当事者への聴き取りも行ってこられた齊藤さんに伺います。

戦後74年を経た今だからこそ、忘れてはならない記憶を知り、平和について考える機会にしたいと思います。

〈齊藤さんの著書〉

『「誉れの子」と戦争—愛国プロパガンダと子どもたち』(中央公論新社) ほか

とき 1月19日(日) 昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール

定員 50名(申込先着順)

〈平和について考える連続講座⑥〉

日本の戦争報道から考える平和とは

～シリア人質事件の真相と戦取材の意義～

講師 安田 純平 (ジャーナリスト)

ジャーナリストが大変な危険を冒さないと得られないような情報までは、私たちは求めていない、と言われることがあります。なぜ、日本社会では危険地報道の重要性が理解されにくいのでしょうか。

ジャーナリストとして危険地で長年取材をし、さらには、自分自身も3年4カ月もの間、人質となりテロリストの脅威にさらされた安田さんから、凄惨な体験を通じた、危険地の実情について伺います。危険地取材をめぐる課題について考えるとともに、現代の平和について考えてみたいと思います。

〈安田さんの著書〉

『自己検証・危険地報道』(集英社新書)、『シリア拘束 安田純平の40か月』(扶桑社) ほか

とき 1月18日(土) 夜7時～9時

ところ 公民館 地下ホール

定員 50名(申込先着順)

対象 市内在住、在学、在勤者



※連続講座ですが、1回でも参加できます。申込先 12月19日(木) 朝9時～ 公民館 ☎ (572) 5141

くにたち野鳥観察

冬は木々の葉が落ちて見通しがよくなり、越冬のため日本に冬鳥が渡ってきます。また、野鳥観察には最適の季節です。一緒にくにたちの鳥を観察してみませんか。

初回は写真やデータ等による講義、2回目、3回目は実際に野鳥を観察します。ぜひ、3回続けてご参加ください。(1回だけの参加も可能です)

講師 佐伯 元行 (国立あおitori保育園 園長)
中島 徹也 (くにたち探鳥会)

◆第1回 12月22日(日) 朝10時～12時頃
郷土文化館(講義)

◆第2回 1月26日(日) 朝9時半～12時頃
城山周辺(観察会)

◆第3回 2月16日(日) 朝9時半～12時頃
多摩川周辺(観察会)

集合場所 第1回、第2回 郷土文化館
第3回 南区公会堂前

持ち物 筆記用具、お持ちの方は野鳥図鑑、双眼鏡等

定員 各回15名(申込先着順)

※観察会は荒天の場合中止にします。

申込先 12月10日(火) 朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

〈図書室のつどい〉

沖縄報道

～日本のジャーナリズムの現在～

お話し 山田 健太

(専修大学、日本ペンクラブ専任理事)

沖縄の事件を報じた新聞各紙の見出しに、ニュアンスの異なる表現が使用されています。ここには各紙の「沖縄か、本土か」「政府寄りか、沖縄寄りか」という立場の違いが反映されています。このような沖縄と本土の意識差は近年、「溝」や「対立」から「分断」へと深刻化しています。

お話では、沖縄現代史と今日の沖縄が抱える問題を踏まえた上で、このような状況を招いたメディアの現状とそれを生み出す構造を解き明かしていただきます。

〈山田さんの本〉

表題作(筑摩書房)、『放送法と権力』(田畑書店)、『法とジャーナリズム』(学陽書房) ほか多数

とき 12月22日(日) 昼3時～5時

ところ 公民館 3階講座室

定員 35名(当日先着順)

*申し込みは不要です。ご自由においでください。



監督 ヴィンセント・ミネリ 製作 アーサー・フリード
音楽 ジョージ・ガーシュウィン 振付 ジーン・ケリー
出演 ジーン・ケリー、レスリー・キャロン ほか

アメリカ人画家とパリ娘のロマンチックな恋模様を、アメリカの国民的作曲家G・ガーシュウィンの名曲の数々と華麗なダンスで美しく描き出した名作。ハリウッド製ミュージカル映画の頂点ともいわれ、モダン・バレエの要素を取り入れたダンスは世界中の映画ファンを魅了し、アカデミー賞では作品賞はじめ8つの賞に輝いた。

とき 12月15日(日) 昼2時～(開場昼1時)
ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)
*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

〈くにたちブッククラブ 言葉に寄りそい時間を超えよ〉
平野啓一郎『ドーン』
(講談社文庫)

講師 山岸 郁子 (日本大学・日本近代文学)
とき 12月12日(木) 夜7時～9時
ところ 公民館 3階講座室
申込先 公民館☎(572) 5 1 4 1
*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読みを出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

来年度、保育を希望するグループは お知らせください

公民館で活動している市民グループに継続的に参加する場合に限り、活動時間中に公民館の保育室で保育を行います。来年度(2020年4月～)保育を希望するグループ、考えているグループは1月末までに公民館へお知らせください。

〈開室時間〉
火曜日～金曜日 午前10時～12時
午後2時～4時
土曜日 午前10時～12時



〈要件〉
市内在住の学齢前の子ども。毎週火曜日、毎週水曜日というように定期的に通えること。
*詳細は公民館へお問い合わせください。
☎(572) 5 1 4 1

太陽系の起源 ～惑星の秘密～

お話 小久保 英一郎 (国立天文台)

太陽に近い順に「水・金・地・火・木・土・天・海」と覚えた方も多いかと思います。私たちが暮らす地球を含め8つの惑星が存在している“太陽系”。そのほかにも準惑星や小天体など、さまざまな天体がありますが、これらはどのようにして誕生したのでしょうか。

今回、シミュレーション天文学の第一人者である小久保さんに、最新の研究成果を基に映像をまじえながらお話をうかがいます。

夜空にたくさんの星が見えるこの時期に、謎に満ちた宇宙について考えてみませんか。

とき 12月22日(日) 昼2時～4時
ところ 公民館 地下ホール
定員 50名(申込先着順)
申込先 12月10日(火) 朝9時～
公民館☎(572) 5 1 4 1



第56回東京都公民館研究大会 公民館の役割、再発見 ～新たな広がりをめざして～

東京都公民館連絡協議会主催の研究大会が開催されます。今年度は、午前中は基調講演、午後は下記4つの課題別集會に分かれて東京の公民館に関わる英知を結びます。刻々と社会情勢が変化する中、それに合わせ住民の学習要求や学習課題も変わってきています。今大会は、公民館の担うべき役割を再確認しつつ、今後進むべき方向性を見出す機会にしたいと思います。

■基調講演 佐藤 一子^{かつこ}さん (東京大学名誉教授)

- 4つの課題別集會
①公民館における「居場所」について考える
②公民館の新たな利用者を広げるには？
～現代における公民館の可能性を考える～
③人口減少社会での災害における公民館と職員の役割
④公民館講座受講後の活動の継続と発展
～学びを超えて、さらなるステップアップ～
どなたでもご参加できます。お気軽にお問合せください。
*詳細は公民館にある大会開催要項をご覧ください。

とき 2月1日(土) 朝9時半～夕4時
ところ KOTORIホール(昭島市民会館) ほか
参加費 1,000円
申込・問合せ先 公民館☎(572) 5 1 4 1

はじめての銅版画

講師 山本 佳奈枝(銅版画家)
さかた きよこ(銅版画家)

興味はあるけど、難しそう? どうやって作るのかな?
そんな疑問に応えながら銅版画創作を楽しむ、初心者向けのワークショップです。銅版画ならではの繊細な線で小さな作品を創ります。集まった仲間とともに作業の時間を楽しみながら、作品を創ってみませんか。出来上がった作品はロビーで展示する予定です。

とき 1月19日、2月2日、16日、3月1日
いずれも日曜日 昼2時~5時

ところ 公民館 3階実習室

定員 10名(申込先着順)

対象 原則休まずに出席できる方。市内在住、在学、在勤者。はじめて参加する方を優先します。

材料費 1,000円(ニードル、銅板、版画紙など)
持ち物 8×10cmの下絵(タテヨコ自由)、エプロン(よごれてもよい服装)、筆記用具
申込先 12月17日(火)朝9時~
公民館☎(572)5141

銅版画(エッチング)とは、銅板に描いた絵を腐蝕させて版を作り、できた凹部にインクを詰めて紙をのせ、プレス機で刷って作る版画です。



こういった素敵な作品ができてあがります

〈哲学講座〉

長谷川宏さんと読む「戦後思想を考える」

講師 長谷川 宏(哲学者)

ヘーゲルの翻訳や哲学研究で多くの著作を出している長谷川宏さんを講師に、今年度は戦後の社会学者である日高六郎の『戦後思想を考える』を取り上げます。日高の戦後平和運動、民主教育運動、市民運動など、積極的に参加してきた自らの体験と重ね合わせて戦後史をふり返ります。そしてどのように「戦後」を語られてきたのか、講読を通じ哲学の観点から考えてみたいと思います。

〈長谷川さんの著訳書〉

ヘーゲル『精神現象学』の翻訳でドイツ連邦政府翻訳賞受賞。『高校生のための哲学入門』(ちくま新書)、『ことをめぐる哲学の冒険』(毎日新聞社)、『双書哲学塾 生活を哲学する』(岩波書店)、『ちいさな哲学』(春風社)ほか多数。

とき 1月11日、18日、25日、2月8日、15日(全5回)
いずれも土曜日、昼2時~4時
ところ 公民館 3階講座室
定員 27名(申込先着順、全回出席できる方)
申込先 市内在住者12月11日(水)朝9時~
市外在住者12月20日(金)朝9時~
公民館☎(572)5141

※テキストの日高六郎著『戦後思想を考える』(岩波新書)をご用意ください。



公民館運営審議会報告

11月12日(火)第32期第13回例会を開催。委員13名、館長、職員2名出席。傍聴人3名。

報告事項

○公民館だより編集研究委員会文化祭や平和講座等について意見が出された旨の報告があった。

○社会教育委員の会

生涯学習振興・推進計画の議論について報告があった。

○東京都公民館連絡協議会

委員会研修会結果及び公民館研究大会(来年2月1日)第4課題別集会の報告があった。

○社会教育学習会が12月5日夜公民館で開催される。「データで知る地域」がテーマ。その案が示され了解された。

協議事項

○職員体制の人事要望について三好委員長より教育委員会教育長あて表記の要望案が示された。

それには、①社会教育に関心意欲のある職員の配属と短期異動はしない。②職員の研修、教育機会の充実。③正規職員の増加、がある。嘱託・臨時職員に係る制度改正も踏まえ、継続審議となった。

○公民館の所管に関わる要望

今年5月の社会教育法改正について、公運審では、これまで学習を重ね、教育委員会による所管を今後も継続するべきであるとの要望書を市長及び教育長に提出することを決めた。

次回定例会は12月10日(火)夜7時15分から。傍聴歓迎。(大串)

地域で日本語支援をしたい人のための
日本語教育入門

地域で日本語を学んでいる外国にルーツのある方々に、日本語を教えたいと考えている方のための講座です。日本語を教える際に必要なことを、理論・実践の両方から学んでいきます。(全8回)
 ※講座終了後に、日本語サポートボランティアに参加することもできます。

◆総論篇：1月7日(火)
 ～地域の日本語ボランティアの役割とは～

講師：林川 玲子
 (東京日本語ボランティア・ネットワーク)

◆体験篇：1月14日(火)
 ～日本語学習者の気持ちになってみよう～

講師：ムラドリ アイダン
 (一橋大学 言語社会研究科修了生)

◆理論篇：1月21日、28日、2月4日(火)
 ～日本語教育のための文法事項や文型について～

講師：庵 功雄 (一橋大学・日本語教育)

◆実践篇：2月18日、25日、3月3日(火)
 ～地域日本語教室の現状理解と実践演習～

講師：志村 ゆかり
 (関西学院大学 日本語教育センター)

時間 いずれも火曜日、夜7時～9時
 定員 25名(申込先着順)
 *市内在住・全回出席できる方を優先します。

ところ 公民館 3階集会室
 費用 テキスト代実費 ※2,200円程度
 (『にほんごこれだけ! 1・2』ココ出版)

申込先 12月12日(木)朝9時～
 公民館 ☎ (572) 5141

〈社会体育事業〉
「街を・山を歩く」第3回

日時 1月15日(水)〈雨天中止〉
 集合 国立駅北口 朝9時
 実施方面 港区麻布方面
 (距離：約9キロ 高低差あり)
 対象 市内在住、在勤者
 ※行程はウォーキング初心者向けです。



「街を・山を歩く」のホームページのQRコード

チラシ 12月20日(金)から市役所3階生涯学習課、市民総合体育館、公民館、北・南市民プラザ、くにたち・こくぶんじ市民プラザで配布します。
 ※コースはHPでも確認できます。(12月20日から1月15日まで)

概要等詳しくは配布チラシを確認してください。
 申し込み方法 チラシの内容(日程、コース、申込方法等)を確認のうえ、12月20日(金)から27日(金)の期間に下記までお申し込みください。

申込・問合せ 教育委員会 生涯学習課
 社会体育担当 ☎ (576) 2107 (直通)



旧駅舎姿現れる
 フォトサークルくにたち 和賀一さん

「暮らしに役立つ講座」
 いつも片づいた部屋、すっきりした部屋をキープする秘訣を「実家の片づけアドバイザー」舟木麻里さんに教えてもらいます。大掃除に役立つお話もあります。無料
 日時 12月15日(日) 朝10時
 場所 福祉会館 中会議室
 連絡先 NP0すてつき(576)3206
第47回元旦マラソンお知らせ
 参加種目10km、5km、3km。参加資格小学生以上健康な男女。参加費高校生以上500円、小中学生無料。当日受付徴収。午前10時スタート。
 日時 元旦朝9時までに集合
 場所 多摩川河川敷中央高速下
 連絡先 立石090(833)7095

くにたち音楽祭 出演団体募集
 第45回くにたち音楽祭(来年6月21日 くにたち芸小ホール)に出演する市内の合唱・器楽サークルなどを募集しています。締め切り12月19日。詳細は連絡先まで。
 場所 芸小ホール
 連絡先 青山(574)1515
クラシックギター入門無料講習
 これから始めてみたい方のための講習で、くにたちギタークラシカが主催します。講師は独奏と重奏をそれぞれのギタリストに師事している会員です。全6回。
 日時 1～3月の木曜日朝11時
 場所 西福祉館など
 連絡先 こみや090(402)6974

今月の公民館 (12月、1月中旬)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 5日(木)夜 社会教育学習会
国立を見える化する～データで知る地域～
- 6日(金)夜 記録を残し、記憶を伝える
～わたしたちの暮らしと「アーカイブス」～
- 8日(日)昼* 図書室のつどい
「このことわざ、科学的に立証されているんです」
- 12日(木)夜 くにたちブッククラブ
平野啓一郎『ドーン』
- 14日(土)朝 青年講座
「高校にある“居場所カフェ”とは?
～社会の生きづらさと若者への寄り添い型支援～」
- 15日(日)朝 平和について考える連続講座⑤
「杉原千畝 命のビザ～その生涯から平和を考える～」
- 15日(日)昼* CINEVOX公民館映画会
『巴里のアメリカ人』
- 21日(土)*冬休み直前 ふれあいひろば
- 22日(日)朝～くにたち野鳥観察
- 22日(日)昼 太陽系の起源～惑星の秘密～
- 22日(日)昼* 図書室のつどい
「沖繩報道～日本のジャーナリズムの現在～」
- 1月7日(火)夜～日本語教育入門
- 11日(土)昼～哲学講座
長谷川宏さんと読む「戦後思想を考える」
- 18日(土)夜 平和について考える連続講座⑥
「日本の戦争報道から考える平和とは
～シリア人質事件の真相と戦争取材の意義～」
- 19日(日)昼 平和について考える連続講座⑦
「『誉れの子』と戦争
～“お国のため”に利用された子どもたち～」
- 19日(日)昼～はじめての銅版画

12月1日より駐輪場の ご利用を再開しました

公民館では外壁工事実施に伴い、7月から11月にかけて駐輪場等を閉鎖させていただきましたが、12月1日(日)より通常利用できるようになりました。

工事期間中、利用者の皆さんには大変ご不便をおかけしました。

今後とも、より良い施設環境の整備に努めてまいりますので、引き続き公民館をご利用ください。

なお、利用に際して、1月15日(水)の工期終了まで、ご利用の一部制限等が発生する可能性がございますのでご理解とご協力をお願いいたします。



公民館 年末年始のお知らせ

12月29日(日)

1月3日(金)

この期間は、公民館全体がお休みになります。

また、2月分の会場調整会は、1月4日(土)朝10時から行います。

参加申込書投入期限は12月26日(木)午後10時です。通常より一週間早まっていますのでご注意ください。

「サークル訪問338」 「万葉集を詠む会」

万葉集は奈良時代末期に編纂され、現存する日本最古の和歌集。全二千巻約四千五百首のすべてが漢字(万葉仮名を含む)で書かれている。

この会は誰か一人が教えるのではなく、各自で学習したものを出し合い、知識を高め合い、自分のものにしていく全員参加の勉強会形式をとっている。

この日は巻5の942、山部赤人の長歌と反歌3首から始められた。前回、担当に指名された人がまず詠み、続いてその内容をかみ砕いて解釈する。出版社や万葉研究の学者によって読み方まで違うのが面白い。もとが万葉仮名という漢字で書かれているので、いまだ未

訓・難訓の歌もある。言葉の一つ一つや助詞の解釈でも意味が変わる。丁寧に解釈を紹介しながら、質問や意見を出し合う。

例えば「敏馬の浦」が出てくれば地図を出して「今の神戸港の東あたり」。それに加えて三宮に同名の神社があるという情報も。「名告藻」では、海草のホンダワラの写真が載った本が回覧される。載っている年号により、当時の天皇の名前や大伴家持が10歳だったなどの時代背景も説明される。

万葉集から垣間見えるその時代の様子が吹き込まれ、取材の私までワクワクする心地になった。最後にもう一度みなで詠み上げる。

2時に始まり休憩も取らず、ひたすら詠みと解釈を出し合う濃密な時間。静かに淡々と進んでいくようで、実は思いを共有した和気あいあいの雰囲気は伝わる。旧制中学に入る前からの万葉ボーイという方のご欠席が残念だったが、会に参加された動機を伺った。自分で勉強するから頭に入るし、なにより音読が楽しいことが共通の感想だった。資料のテキストは立川さんが用意したものとかが、興味のある方はご連絡を。

日時 第四木曜 昼2時～4時
場所 公民館 音楽室
連絡先 立川(576)0758
(文・写真 佐藤節子)



万葉集は音読が楽しい